

月刊きょうと教育通信

vol. 7 平成15年3月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

全国に誇る「教育の先進都市・京都」の一層の飛躍に向けた、平成15年度教育予算！！

<「教育改革」推進を支える予算>

財政の非常事態が宣言される厳しい財政危機にあっても、**教育・福祉を最大限重視した梶本頼兼市長の方針の下、市の一般会計（6,467億円）が前年比マイナスとなる中、教育費（566億円）はプラスとなりました。教育費を増額しているのは、政令指定都市の中で唯一、京都市だけです。**

予算編成にあたっては、事業の見直しやリストラ・給与カットなどによって財源を捻出すると同時に、「教育改革」2年目にあたる平成15年度にどうしても必要なものを優先的かつ確実に予算確保しました。

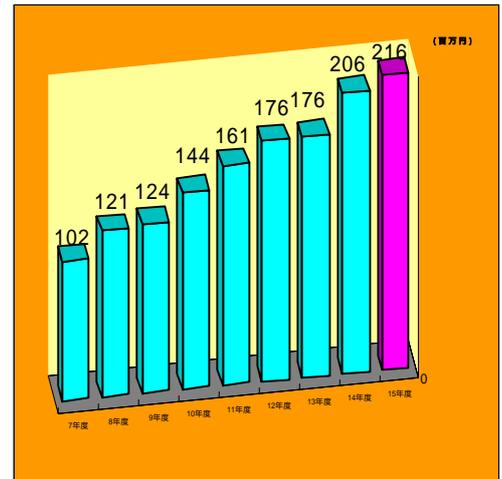
これらの予算を最大限活用して、全国をリードする京都ならではの「教育・人づくり」の取組のより一層の充実を図ります。

本市教育予算概況・推移 平成7年度比で11.5%アップ

| 項目 | 15年度 | 14年度 | 7年度 | 前年度との比較 | 7年度との比較 |
|-----|-------------|-------------|-------------|---------|---------|
| 教育費 | 565億5,300万円 | 564億3,600万円 | 507億1,900万円 | +0.2% | +11.5% |
| 内訳 | 学校等運営費 | 166億1,700万円 | 162億5,800万円 | +2.2% | +27.6% |
| | 学校維持修繕費 | 26億円 | 25億円 | +4.0% | +39.8% |
| | 建築等施設整備費 | 133億1,000万円 | 123億5,600万円 | +7.7% | +33.1% |
| | 人件費 | 240億2,600万円 | 253億2,200万円 | 5.1% | 7.0% |

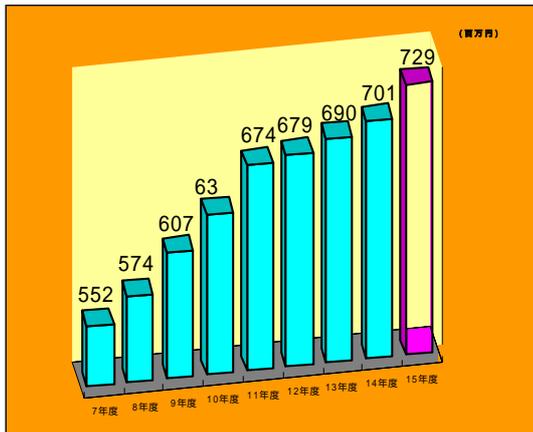
学校図書費：総額2億1,562万円

・ この8年間で1億1,400万円の増額、児童生徒一人あたり、およそ2.5倍



教材・理科設備費：総額7億2,919万円

・ この8年間で1億7,700万円の増額、児童生徒一人あたり1.6倍



<新規> 15年度主要予算項目

| | |
|----|--|
| 1 | 小学校1,2年生における「35人学級」の実施(15年度は1年生のみ)(1億6,800万円) |
| 2 | 「確かな学力」総合推進事業(10億4,770万円)[前年比3.5倍] |
| 3 | 大学との連携による「学生ボランティア」学校サポート事業(1,000万円) |
| 4 | 外部評価を含めた「学校評価システム」の全校園導入(100万円) |
| 5 | 教育改革パイオニア実践研究事業(1億円) |
| 6 | 英語教員3ヶ年集中研修(500万円) |
| 7 | 教職員のためのコンピュータ基礎講座 e-ラーニング化(300万円) |
| 8 | 特別支援教育調査研究(300万円) |
| 9 | 教育相談総合センター「こども相談センター パトナ」オープン(1億5,949万円) |
| 10 | 子どもの体力アップ総合推進事業(920万円) |
| 11 | 新生西京高校・新学科「エンタープライジング科」開設・中高一貫教育校開設準備(4,837万円) |
| 12 | 養護学校高等部職業学科新設準備(5,800万円) |
| 13 | IT教育パートナー全校派遣(1億8,606万円) |

<充実> 15年度主要予算項目

| | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 中学校給食の全校実施(10億3,537万円) |
| 2 | スクールカウンセラーの配置拡大(1億3,870万円) |
| 3 | 学校施設耐震化計画の推進(20億4,600万円) |
| 4 | 学校冷房化推進事業(2億7,400万円) |
| 5 | 図書館の祝日開館全館実施・夜間開館の拡大(5,541万円) |
| 6 | 教材・理科設備費の増額(2,800万円増額) |
| 7 | 学校図書費の増額(1,000万円増額) |

市民ぐるみで道徳の在り方を検討

「京都市道徳教育フォーラム」を開催(2月22日)

市民公募委員や保護者代表、学識経験者等14人で構成される京都市道徳教育振興市民会議は、2月22日、永松記念教育センターで、「京都市道徳教育フォーラム」を開催しました。

市民会議では、平成13年8月の発足以来、12回にわたる論議を幅広い観点から行うとともに、約23,000人に回答いただいた市民アンケートを実施するなど、学校はもちろん家庭や地域も含めた京都ならではの道徳教育の在り方についての検討を進めています。

フォーラムでは、基調講演で、河合隼雄名誉座長(文化庁長官)が、「以前は家庭の中で自然とできていた道徳教育がうまく機能しなくなっている。道徳を学校で教えてほしいとする社会的要請に学校が応えていかなばならない状況にある。」として、今日、道徳教育が必要とされている背景を述べました。また、「一人の人間として、大事なときに自分で決断し、行動できる人間になってほしい」と、道徳教育への期待を語りました。



続くシンポジウムでは、小寺正一座長(京都教育大学副学長)から市民会議の活動について報告があった後、3人のパネリストを加え、さまざまな意見が交わされるなど、約450人の参加者が道徳の在り方をともに考える貴重な機会となりました。

ご意見・お問合せ = 京都市道徳教育振興市民会議事務局(学校指導課・222-3808)

< 3月の主な予定・出来事 >

- ~4月22日 特別展「京都の学校ゆかりの画家・上村松園」
(学校歴史博物館、水曜休館)
- 1日 永松記念教育センター教育研究発表会
(午後1時~4時 大研修室他、参加者453人)
- 8日 西京高校新校舎完成記念式典
- 11日 新・京都市教育ネットワーク「愛称：ひかりのきょうとネット」開通記念式典(御所南小学校)
- 13日 生涯学習市民フォーラム総会・中坊公平会長記念講演会(シルクホール、無料、事前申込制)
- 21日 音楽高校第6回卒業演奏会
- 29日 記念対談「祖母松園を育んだ京都の学校と風土」
(上村淳之日本画家・京都市立芸大副学長・日本芸術院会員
と上田正昭学校歴史博物館長)
- 4月2日 小椋佳「歌談の会」
(京都会館、午後6時30分~、チケット販売中)

注目

3月29日 「山本寛斎講演会」

京都市内博物館施設連絡協議会の設立10周年を記念して、デザイナー・プロデューサーとして活躍される同氏の講演会が開催されます。(キャンパスプラザ京都、午後2時~、事前申込制)

粟田小学校と有濟小学校の統合要望書提出



児童数の減少が進む東山区の粟田小学校と有濟小学校、及び両校区の一部である弥栄学区の地元の方々に構成される「粟田・有濟小学校、弥栄学区統合推進合同委員会」から、2月14日、門川大作教育長に統合の要望書が提出されました。

要望書では、「粟田小学校の施設を使って16年4月に新たな校名で統合すること」とされており、市では今後、地元の方々の要望に沿ってcccc条件整備を進めます。

ご意見・お問合せ = 学校統合推進室(371-2009)